

令和6年度決算

統一的な基準による伊勢崎市の財務書類【一般会計等】概要版

はじめに

伊勢崎市では市民の皆様によりよく理解していただくために、平成20年度決算から「新地方公会計制度」に基づく財務書類を作成しております。平成28年度決算からは、これまでの取組を発展させた「統一的な基準」による財務書類を作成し、公表しています。

「統一的な基準」による財務書類は発生主義ベースで作成されますので、減価償却費のような現金の支出を伴わないコストの把握や、市の資産や借金といったストックの総体を一覽的に把握でき、従来の決算書では分からなかった情報を得ることができます。

貸借対照表 (BS)

本市の資産は約4,050.8億円、負債は約745.5億円、純資産は約3,305.3億円です。負債と純資産の比率は、おおよそ1:4です。

主な資産は、道路・橋梁、小・中学校などの有形固定資産であり、その金額は約3,693.4億円です。その他に投資及び出資金が約123.9億円、基金（固定資産及び流動資産）が約179.6億円、現金預金が約46.2億円、債権（長期延滞債権及び未収金）が約8.0億円あります。過去の不納欠損実績を踏まえると、債権のうち約0.9億円は、徴収不能と見込まれます。

主な負債は、地方債（固定負債及び流動負債）が約614.3億円、退職手当引当金が約108.4億円です。

固定資産	3,908億1,042万円	負債 ※将来世代の負担	745億5,300万円
道路・橋梁・小・中学校など		地方債など	
		純資産 ※過去・現世代の負担	3,305億3,197万円
流動資産	142億7,455万円	現在までの世代負担額	
基金・現金など			
資産合計 ※市の財産	4,050億8,497万円	負債・純資産合計	4,050億8,497万円

市民一人あたり ※

資産額 **192万円**

負債額 **36万円**

減価償却率 **67.8%**

純資産変動計算書 (NW)

本市の前年度末純資産残高は約3461.2億円、本年度末純資産残高は約3305.3億円で、純資産が約155.9億円減少しました。純行政コスト約754.4億円に対して、税収や地方交付税収入、国県等補助金等受入等の財源収入が約774.9億円であり、財源収入で純行政コストを賄っていますが、固定資産台帳と公有財産台帳との統合で資産の精緻化を行ったこと等により、無償所管換等で約178.6億円減少したことが主な要因となります。

市民一人あたり ※

純資産 **156万円**

前年度末純資産残高	3,461億1,549万円
純行政コスト	△754億4,238万円
税収、国や県からの補助金など	774億9,333万円
無償取引による資産の増減など	△176億3,447万円
本年度末純資産残高	3,305億3,197万円

行政コスト計算書 (PL)

本市の経常費用は約808.1億円、経常収益は約43.6億円であり、差引きしますと純経常行政コストは約764.5億円です。また、臨時損失は約1.3億円、臨時利益は約11.4億円であり、純行政コストは約754.4億円です。

純経常行政コストの内訳をみると、経常費用は人件費が約151.5億円、物件費等が約319.6億円、その他の業務費用が約7.9億円、移転費用が約329.1億円です。

一方、経常収益は、使用料及び手数料が約9.9億円、その他の収益が約33.7億円です。

市民一人あたり ※

純行政コスト **36万円**

経常費用	808億1,005万円
業務費用	478億9,692万円
人件費	151億5,357万円
(職員給与など)	
物件費等	319億5,587万円
(委託料、減価償却費など)	
その他の業務費用	7億8,748万円
(借入金の利息支払など)	
移転費用	329億1,313万円
経常収益	43億6,148万円
使用料及び手数料	9億8,697万円
その他	33億7,451万円
純経常行政コスト	764億4,857万円
臨時損失	1億3,311万円
臨時利益	11億3,930万円
純行政コスト	754億4,238万円

※伊勢崎市総人口（令和7年4月1日現在）211,651人により算出

おわりに

伊勢崎市は、計画的な予算編成と効率的で効果的な事業の執行に取り組みつつ、市広報紙やホームページにより、予算・決算の概要や年度の執行状況、財務諸表、予算編成方針などを積極的に分かりやすく公表することにより、透明で健全な財政運営に努めるとともに、財政に対する市民の関心度を高め、説明責任を果たします。

資金収支計算書 (CF)

本市の業務活動収支は約72.5億円、投資活動収支は約△70.3億円、財務活動収支は約△1.2億円で、その結果、歳計現金が約1.1億円増加しました。

投資活動収支は、収支差額がマイナスとなっておりますが、これは公共資産や基金等への投資が進んだことを意味しており、財政が悪化しているということを示すものではありません。資金の流れに着目すると、業務活動収支の黒字額を、投資活動収支と財務活動収支の不足額に補填しています。

市民一人あたり ※

現金預金残高 **2万円**

業務活動収支	72億5,487万円
(市税や業務費用など)	
投資活動収支	△70億2,883万円
(資産形成や貸付など)	
財務活動収支	△1億1,610万円
(地方債の借入や償還など)	
本年度資金収支額	1億 994万円
前年度末資金残高	36億9,992万円
本年度末資金残高	38億 986万円

前年度末歳計外現金残高	8億1,264万円
当年度歳計外現金増減額	△61万円
本年度末歳計外現金残高	8億1,203万円
本年度末現金預金残高	46億2,189万円

お問い合わせ

〒 372-8501

群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地

伊勢崎市 財政部財政課理財係

TEL 0270-27-2712 (直通)

ぜひ財務書類の分析資料もあわせてご覧ください。

